

中学生の農業体験

—子どもたちに「農業」という選択肢を—



茨城町では、次代を担う子どもたちを対象に、町の基幹産業である農業を体験してもらい、農業の重要性や勤労の尊さを学ぶ農業体験事業を行っています。

夏休み中、桜丘中学校と梅香中学校では、二年生がそれぞれジャガイモの収穫体験を、明光中学校では一年生がジャガイモの収穫・選別、野菜

菜の出荷作業、花の手入れなどの作業を行いました。生徒たちは、農家の方々との交流をとおして、農業の大変さと面白さ、一つの作業をやりとげる達成感を感じていました。

次のページに、農業体験に参加した生徒たちの感想文を掲載いたします。

今回の農業体験学習にご協力いただいた農家の皆さま（敬称略）

実施日	学校	参加人数	受入協力農家	体験内容
7月24日	梅香中（2年）	74	榎倉本商店（小幡）	ジャガイモ収穫
7月25日	明光中（1年）	15	大信 恒雄（上石崎）	ジャガイモ収穫
7月25・26日	〃	27	杉浦 一雄（長岡）	ジャガイモ選別
〃	〃	28	鶴田 定夫（上石崎）	柳畑の草取りなど
〃	〃	29	長谷川園芸（駒場）	花の手入れ
7月26日	〃	15	中村バラ園（谷田部）	バラの花摘みなど
〃	〃	12	井坂 安男（駒場）	コマツナの出荷作業
〃	〃	14	江幡 憲昭（駒場）	ニラの収穫作業など
7月30日	桜丘中（2年）	49	平本 英一（小幡）	ジャガイモ収穫

農業体験で学んだこと

桜丘中学校二年 深作 優樹

僕は初めて農業体験に参加し、平本さんの畑でジャガイモ掘りをしました。初めてのジャガイモ掘りだったので、最初は、良いジャガイモとB級品のジャガイモの区別がつきませんでした。でも、ジャガイモ掘りの時に手伝っていたおじさんやおばさんが優しく詳しく教えてくださったので、スムーズに進み、あっという間に袋が一杯になりました。こつをつかんでからは、二つ、三つとジャガイモを入れた袋が増えていき、たくさん収穫することができました。みんなで収穫することができたので、あっという間に作業を終えることができました。作業の後で、とれたジャガイモを調理してください、みんなでおいしくいただきました。汗をかいて働いた後に食べたジャガイモのおいしさは忘れることができます。

僕がこの農業体験で学んだことは、「農業は大変な作業だけど、やり遂げたときの達成感ほ本当にすばらしい。」ということ。僕たちが毎日いただいている野菜は、農家の方が一生懸命つくってくださったものなので、感謝していただきたいと思っています。



達成感

梅香中学校二年 藤枝 智也

ぼくは、農業体験に行くとき最初に先生から聞いた時、正直少しめんどうだなあと思いましたが、しかし実際にやってみたら、想像していたよりもずっと楽しく活動することができました。特に、土の中から大きいジャガイモを見つけるととても嬉しく、もっと掘りたいとやる気がでてきました。夢中で掘っているうちに、一人二列掘るところを、ぼくは四列も掘ることができました。ジャガイモを探しているときに、中には腐っているジャガイモや小さすぎるジャガイモがありました。それらのジャガイモの選別の方法も、農家の方がいねいに教えて下さり、とても勉強になりました。

一生懸命掘っているうちに、全身が泥だらけになり、体も疲れました。しかし、コンテナいっぱいになりました。農家の方々の苦勞を実際に体験し、とても充実した一日になりました。



柳の木を育てるために

明光中学校一年 川上 悠大

夏休み、僕たちは農業体験で柳の木を出荷している農家へ行きました。着くとすぐに作業の内容や機械の使い方の説明を受けました。

まずは、柳の周りに生えている雑草の下草刈りです。雑草をきちんと刈っておかないと、栄養が雑草の方にいってしまうので、柳の育ちが悪くなってしまうそうです。

その後は、二、三十本ある柳の水やり作業です。暑い夏の日の作業は大変でした。

お世話になった方から、「最近では農業をやる人が少なくなつて、柳の苗も入手が困難になってる。」という話を聞いて、「自然と向き合つて、農業を続けている方々は、すごいな。」と思いました。

今日は、農業にかかわる方の意見が聞けたり、クラスの人々と楽しく作業したり、よい体験をすることができました。

